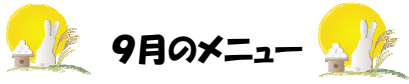


9月の知恵袋

子ども教育実践総合センター



9月のメニュー

- 9月お薦め絵本
- ちょっと耳寄りな情報

- 9月の手遊び
- こんなとき、どうする？



9月お薦め絵本



『お月さまってどんなあじ?』
マイケル・グレイニエツ 作 いずみちほこ 訳 セーラー出版(1995)
お月さまの味を確かめたくて動物たちは次々に背中に乗って背伸びします。さてお月さまには届いたのかな？



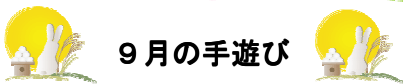
『おつきみうさぎ』
中川ひろたか 作 村上康成 絵 童心社 (2001)
お月見の日にすすきをとっていた子ども達が出会ったのは…。なんと月見団子の作り方も載っている絵本です。



『パパ、お月さまとって!』
エリック・カール 作 もりひさし 訳 借成社(1986)
お月さまが欲しい娘のためにパパが持ってきたのは長ーい長ーいはしご。さあどうやってお月さまを持って帰るのでしょうか？ページを開くしかけが楽しい絵本です。



『どんぐりむらのぱんやさん』
なかやみわ 作 学研 (2011)
今日もどんぐり家族のパン屋さんで大忙し。子育てと仕事の両立は、どんぐりの世界でも大変です。



9月の手遊び

おつきみうさぎをイメージしてやってみましょう。

① うさぎさんがでてきたよ ② おみみをうごかすよ ぴっぴっ

5

③ まえをむいてこんにちは ④ ラッ タラッ タラッ タラッ タ またあした ⑤ パチン

- ① 両手を後ろに隠し、チョキの形にしたうさぎを前に出す
- ② “ぴっぴっ”に合わせて耳の指（人差し指と中指）を交互に曲げる
- ③ うさぎにした手を前に進め、“こんにちは”でおじぎをするように前に倒し起こす
- ④ リズムに合わせてうさぎを横に揺らし、背中の上ろに戻す
- ⑤ “ぱちん”で、両手で拍手をする

※2番はきつね（“コーン”、おくちを動かす）、3番はカニ（“チョキン”、はさみを動かす）、4番はかたつむり（“ニョロ”、めだまを動かす）、5番は恐竜（“ガオー”、おくちを動かす）で行う。



[中秋の名月について]

中秋とは旧暦の秋（7月、8月、9月）の真ん中の“日”を指す言葉で旧暦8月15日のことをいいます。実は、“中秋の名月”は満月ではないこともあります。旧暦では月の満ち欠けを見て日付決めており、新月のときが1日となり、満月になる頃が15日、その後また新月になる日に新しい月に切り替わります。ただ、新月から満月になるまでの日数が毎回15日であるとは限らないため、15日は満月ではない可能性があるのです。そのため、正確には満月ではないことも…。2012年の“中秋の名月”は9月30日、この日は満月にぴったり合っています。秋の夜風に吹かれながら、お月見を楽しみたいですね。

[お月見団子を作ってみましょう！]

材 料：上新粉 50グラム、白玉粉 50グラム、水 80cc～90cc、砂糖 10グラム

作り方：

- ① 上新粉・白玉粉・砂糖をボールに入れ、水を少しずつ入れながら手でこね、耳たぶぐらいの固さにする。
- ② 生地を棒状に伸ばし、包丁で等分し、直径3cmぐらいにまるめる。
- ③ 沸騰したお湯に次々に入れ、茹でる。上に浮いてから2分くらい茹でたら冷水に取り、荒熱が取れたら、キッチンペーパーで水気を取る。
- ④ お月見の飾りにするときは、お盆に十五夜なら15個（1段目9個、2段目5個、3段目1個）、十三夜なら13個（1段目9個、2段目3個、1段目1個）を飾る。
- ⑤ いただくときは、お好みでみたらしのたれやあんこ、きな粉でいただいても…。



[こんな時、どうする？ ー施設実習で利用者さんとの接し方がわからないー]



一言で“施設実習”といっても、実習先の施設種によって実習する内容はずいぶん違ってきます。保育実習Ⅰの施設実習先は、養育環境に問題があり保護を必要とする利用者のための施設（乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設など）、障がいがあり適切な治療・教育を必要とする利用者のための施設（知的障害児(者)施設、肢体不自由児(者)施設、重症心身障害児(者)施設、知的障害者更生施設など）、非行、自閉傾向など情緒面のケアを要する利用者のための施設（児童自立支援施設など）になります。保育実習Ⅲの施設実習先は、保育実習Ⅰの施設に児童厚生施設（主に児童館）、知的障害児(者)通園施設などが加わります。

幼稚園や保育所と違って、これまでに施設に関わったことのない学生のみなさんは、「利用者さんとうまく関わられるか不安」ということをよく相談にきます。「自分の関わり方でパニックを起こしてしまったら」、「気持ちを傷つけてしまったら」など、実習に前向きになれない学生さんもいますね。でも、今までの実習生の様子を見てみると“案ずるより産むが易し”です。特に施設の先生方は「積極的に接してみてください」とおっしゃいます。

まずは、施設の先生に、「してはいけないこと」、「言ってはいけないこと」を確認しましょう。もし、実習に不安があるならばじめにきちんとお話しておくことも大事です。また、分からないことは質問して動くようにしてください。中途半端な知識や自分の勝手な判断で動かないこと。施設の先生の動きや言葉掛けをよく見て真似してみるのもいいでしょう。

知的障害者の方と接する時に大切なのは、先入観を捨てて接することだと思います。まずは笑顔で温かみのある挨拶からしてみましょ。どの実習でも同じですが、自分が相手の行動をリードするのではなく、相手に寄り添う姿勢が大切です。たった12日間の実習ですが学ぶものは多いはず。頑張ってください。

